

平成28年度

教育委員会事務点検・評価報告書

(平成27年度事業対象)

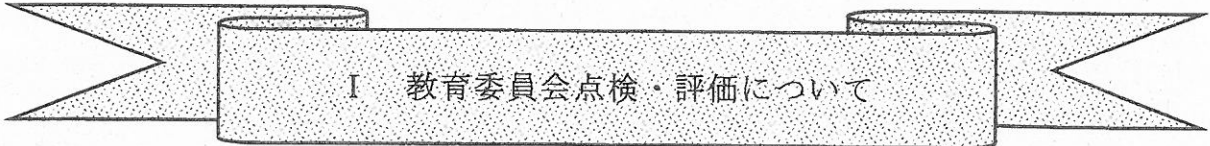
平成28年10月
和寒町教育委員会

目 次

I	はじめに	2
1	趣 旨	2
2	点検・評価の対象	2
3	点検・評価の方法	2
II	教育委員会の活動状況	4
1	教育委員会議の開催状況	6
2	条例、規則等の制定状況	8
3	研修会、各種行事、視察、会議等への参加状況	9
4	教育委員会議の点検評価	15
5	教育委員会議の課題と対応方法	16
III	教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検評価について	17
1	学校教育関係評価項目	17
2	社会教育関係評価項目	27
3	図書館関係評価項目	36
4	スポーツ振興関係評価項目	41
IV	学識経験者の意見	45

資 料

- 1 平成27年度和寒町教育行政執行方針



I 教育委員会点検・評価について

1. 趣 旨

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（昭和 31 年法律第 162 号）が改正され（平成 20 年 4 月 1 日施行）「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならない」となりました。

そこで、法改正の趣旨である効果的な教育行政の推進に資するとともに町民の皆さまに説明責任を果たすため、学識経験者の意見を活用した教育委員会活動の点検・評価を実施しております。

2. 点検・評価の対象

点検・評価は、「平成 27 年度教育行政執行方針」に掲げられた「重点政策」を中心に、総合計画等に基づき行いました。

3. 点検・評価の方法

点検・評価にあたっては、事業ごとにマネジメントシート（それぞれの事業を管理し、効果を最大限に発揮するために分析を行うシート）を作成し、取り組みの状況を明らかにするとともに、今後における課題と対応方向を示しました。

その後、教育に関し学識経験を有する外部評価委員 3 名の客観的な評価・意見「外部評価」を頂いたうえで、「教育委員会事務点検・評価報告書」としてまとめました。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会議の開催状況

定例会は原則として毎月1回、臨時会は必要に応じて開催しています。

平成27年度は、定例会10回を開催し、議案30件、協議6件、報告3件、その他18件について審議しております。

また、教育委員会会議は、一部の非公開となった内容を除き、開催予定日や会議の議案等を公表しております。

なお、教育委員会議において議決が必要な事項は次に掲げる事項で、それ以外の権限に属する事務は教育長に委任されております。(地方教育行政の組織及び運営に関する法律)

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律抜粋】

(教育委員会の職務権限)

第21条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

- 1 教育委員会の所管に属する第三十条に規定する学校その他の教育機関（以下「学校その他の教育機関」という。）の設置、管理及び廃止に関すること。
- 2 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の用に供する財産（以下「教育財産」という。）の管理に関すること。
- 3 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- 4 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。
- 5 教育委員会の所管に属する学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び職業指導に関すること。
- 6 教科書その他の教材の取扱いに関すること。
- 7 校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
- 8 校長、教員その他の教育関係職員の研修に関すること。
- 9 校長、教員その他の教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関すること。

- 10 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の環境衛生に関すること。
- 11 学校給食に関すること。
- 12 青少年教育、女性教育及び公民館の事業その他社会教育に関すること。
- 13 スポーツに関すること。
- 14 文化財の保護に関すること。
- 15 ユネスコ活動に関すること。
- 16 教育に関する法人に関すること。
- 17 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関すること。
- 18 所掌事務に係る広報及び所掌事務に係る教育行政に関する相談に関すること。
- 19 前各号に掲げるもののほか、当該地方公共団体の区域内における教育に関する事務に関すること。

1. 教育委員会議の開催状況

・教育委員会議の開催回数

10回

平成27年度において、次のとおり教育委員会議を開催し、審議を行ないました。

期日	議 題	(内 容)
平成27年4月27日 (月)	議 案	1 和寒町教育委員会事務局職員の任免について 2 和寒町スポーツ推進委員の委嘱について 3 平成27年度和寒町奨学資金貸付者の認定について 4 平成27年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について 5 和寒町スポーツ奨励賞特別賞について 協 議 1 和寒町スポーツ奨励賞規則（内規）について そ の 他 1 子育て支援センター運営委員の推薦について
平成27年5月28日 (木)	議 案	1 町長の権限に属する事務の補助執行に関する協議について 2 和寒町教育委員会事務局職員の任免について 3 和寒町文化財保護委員の委嘱について 4 和寒町公民館運営審議会兼社会教育委員の委嘱について 5 第8次和寒町社会教育中期振興計画策定委員の委嘱について 6 和寒町立学校評議員の委嘱について 協 議 1 補正予算について その他 1 北海道市町村教育委員研修について
平成27年7月8日 (水)	報 告	1 教職員に係る勤勉手当の評価について
平成27年8月21日 (金)	議 案	1 平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択について 2 全国学力・学習状況調査結果の公表について 3 和寒町教育大綱（案）について そ の 他 1 平成27年度教育先進地事情視察研修について 2 北海道町村教育委員会連合会の組織の在り方について 3 児童・生徒の交通安全対策について
平成27年10月1日 (木)	協 議 報 告 議 案	1 和寒町スクールバス運行条例の一部改正について 1 和寒町教育委員会委員の任命について 1 和寒町教育委員会委員長の選任について 2 和寒町教育委員会職務代理者の指定について 3 和寒町スクールバス運行条例施行規則の一部改正について 4 和寒町文化奨励賞について 5 和寒町スポーツ奨励賞について そ の 他 1 和寒町教育大綱（素案）について 2 全国学力・学習状況調査結果の結果について 3 和寒中学校跡地利用検討委員会について 4 フッ化物洗口について 5 管内教育委員会連合会第2回委員研修会について

期日	議 題 (内 容)
平成27年11月13日 (金)	議 案 1 平成26年度教育委員会の事務管理及び執行状況の点検・評価報告について 2 和寒中学校跡地利用検討委員会設置要綱の一部改正について その 他 1 旧三和小学校煙突壁材アスベスト分析結果等について
平成27年12月10日 (木)	議 案 1 和寒町子ども読書活動推進計画の策定について 報 告 1 教職員の勤務手当に係る評価について その 他 1 平成27年度全国体力・運動能力向上及び運動習慣等調査の公表について 2 教育施設に係る指定管理者の募集(選定)について 3 第2回教育先進地事情視察研修の報告について
平成28年1月6日 (水)	協 議 1 平成28年度予算案について その 他 1 平成27年度全国体力・運動能力向上及び運動習慣等調査の結果について
平成28年2月17日 (水)	議 案 1 平成28年度和寒町教育行政執行方針について 2 和寒町スポーツ奨励費特別賞について 協 議 1 平成28年度予算(案)について その 他 1 和寒町奨学資金貸付事業について
平成28年3月23日 (水)	協 議 1 和寒町奨学資金貸付条例の一部改正について 議 案 1 和寒町奨学資金貸付条例施行規則の全部改正について 2 修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割振等に関する要領の一部改正について 3 教職員の人事について 4 和寒町社会教育指導員の任免について 5 和寒町教育アドバイザーの任免について 6 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について その 他 1 和寒町フッ化物洗口事業実施要綱について 2 奨学資金貸付に係る教育委員会内規について

2. 条例、規則等の制定状況

教育関係の平成27年度の条例、規則等の制定状況は、条例改正2件、規則改正2件、要綱改正1件、要領改正1件、あわせて6件を制定しました。

条例

条例番号	題 名	公 布 年 月 日	施 行 年 月 日
(27年) 条例第29号	和寒町スクールバス運行条例の一部改正	平成27年9月17日	平成27年10月1日
(28年) 条例第14号	和寒町奨学資金貸付条例の一部改正	平成28年3月11日	平成28年3月11日

規則・要綱

規則番号	題 名	公 布 年 月 日	施 行 年 月 日
(27年) 規則第7号	和寒町スクールバス運行条例規則の一部改正	平成27年10月1日	平成27年10月1日
(27年) 告示第2号	和寒中学校跡地利用検討委員会設置要綱の一部改正	平成27年11月13日	平成27年11月13日
(28年) 規則第1号	和寒町奨学資金貸付条例施行規則の全部改正	平成28年3月23日	平成28年3月23日
(28年) 告示第1号	修学旅行の引率業務に従事する町立学校職員の勤務時間の割振等に関する要領の一部改正	平成28年3月23日	平成28年3月23日

3. 研修会、各種行事、視察、会議等への参加状況

教育委員は、教育委員会議のほか小・中学校への学校訪問や行事への参加、各種研修会、会議等へ出席するなどの活動を行なっております。

年月日	活 動 内 容		委 員 名
平成27年4月1日	平成27年度和寒町新規採用職員辞令交付式	役 場	教育長
〃	わっさむ「開村記念の日」のつどい	役 場	委員長・教育長
平成27年4月3日	平成27年度和寒町教職員辞令交付式	公 民 館	委員長他3名・教育長
平成27年4月7日	和寒小学校入学式	和 寒 小 学 校	委員長他2名・教育長
〃	和寒中学校入学式	和 寒 中 学 校	委員長他3名・教育長
平成27年4月8日	和寒町教育研究会総会	和 寒 中 学 校	教育長
平成27年4月9日	和寒小中学校管理職会議	公 民 館	教育長
〃	第6地区教科用図書採択教育委員会協議会	旭 川 市	教育長
〃	上川管内教育委員会連合会教育長部会	旭 川 市	教育長
平成27年4月10日	上川管内公立小中学校長会議	旭 川 市	教育長
平成27年4月13日	和寒中学校参観日	和 寒 中 学 校	教育長
平成27年4月14日	公立高等学校配置計画地域別検討協議会	名 寄 市	教育長
平成27年4月16日	北海道公民館協会旭川支部総会	旭 川 市	教育長
平成27年4月18日	札幌自由が丘学園三和高等学校入学式	三 和 高 等 学 校	教育長
平成27年4月19日	和寒小学校入学式	和 寒 小 学 校	教育長
平成27年4月20日	面接教育懇談	公 民 館	委員長・教育長
〃	和寒町文化団体連絡協議会総会	役 場	教育長
平成27年4月22日	上川管内教育委員会連合会総会並びに委員研修会	旭 川 市	委員長他1名・教育長
平成27年4月23日	北海道公民館協会定期総会	札 幌 市	教育長
平成27年4月27日	第4回教育委員会議	公 民 館	委員長他3名・教育長
平成27年4月28日	三笠山大学入学式	公 民 館	委員長他1名・教育長
平成27年4月29日	町内一斉清掃ボランティア	役 場	教育長
平成27年4月30日	企画会議	役 場	教育長
平成27年5月7日	町議会臨時会・議会全員協議会	役 場	教育長
平成27年5月14日	和寒町子ども会育成連絡協議会総会	役 場	教育長
平成27年5月16日	片栗庵のつどい	片 栗 庵	教育長
平成27年5月18日	産業教育常任委員会	役 場	教育長
平成27年5月19日	和寒小中学校管理職会議	公 民 館	教育長
〃	剣淵町との相互交流推進に係る協定書調印式	剣 淵 町	委員長・教育長
〃	面接教育懇談	公 民 館	教育委員・教育長
平成27年5月20日	学校経営訪問指導（義務教育指導監）	教委・中学校・小学校	教育長
平成27年5月25日	臨時町議会	役 場	教育長
平成27年5月27日	上川教育局教育委員会訪問	公 民 館	教育長
平成27年5月28日	第5回教育委員会議	公 民 館	委員長他3名・教育長

平成27年5月29日	三笠山大学学長杯パークゴルフ大会	総合運動公園PG場	教育長
平成27年6月1日	企画会議	役 場	教育長
〃	和寒中学校体育祭	和 寒 中 学 校	委員長・教育長
〃	第6地区教科用図書採択教育委員会協議会	旭 川 市	教育長
平成27年6月2日	公民館運営審議会兼社会教育委員会議	公 民 館	教育長
平成27年6月3日	産業教育常任委員会	役 場	教育長
平成27年6月7日	和寒小学校運動会	和 寒 小 学 校	委員長・教育長
平成27年6月8日	全員協議会	役 場	教育長
〃	学校支援地域本部実行委員会	公 民 館	教育長
平成27年6月15日	第1回臨時教育委員会議	公 民 館	委員長他3名・教育長
〃	青少年育成町民会議	公 民 館	教育長
〃	和寒町招魂祭	忠 魂 碑	教育長
平成27年6月16日	上川管内教育委員連合会意見交換会	旭 川 市	委員長
平成27年6月17日	和寒小学校児童葬儀参列	顕 正 寺	委員長・教育長
平成27年6月18日	第2回町議会定例会	役 場	委員長・教育長
平成27年6月19日	第2回町議会定例会	役 場	委員長・教育長
〃	面接教育懇談	公 民 館	教育委員・教育長
平成27年6月20日	100周年記念100ホールPG大会	総合運動公園PG場	教育長
平成27年6月20日	和寒町スポーツ奨励賞特別賞贈呈式	公 民 館	委員長・教育長
平成27年6月22日	和寒小中学校管理職会議	公 民 館	教育長
平成27年6月23日	学校評議委員合同会議	公 民 館	教育長
平成27年6月24日	交通安全防止町民緊急集会	ひ だ ま り	教育長
平成27年6月25日	地域公共交通会議	役 場	教育長
平成27年6月26日	特別支援教育連携協議会第1回推進会議	公 民 館	教育長
平成27年6月28日	渡邊富美雄氏叙勲受賞祝賀会	公 民 館	教育長
平成27年6月29日	第1回総合教育会議	公 民 館	委員長他3名・教育長
〃	教育委員会議	公 民 館	委員長他3名・教育長
平成27年6月30日	和寒小学校参観日	和 寒 小 学 校	教育長
〃	町民運動会協議役員打合会議	町 民 セ ン タ ー	教育長
平成27年7月1日	企画会議	役 場	教育長
〃	和寒小学校低学年参観日	和 寒 小 学 校	教育長
平成27年7月5日	第54回町民大運動会	総合運動公園運動広場	委員長・教育長
平成27年7月6日	通学学習保護者説明会	公 民 館	教育長
平成27年7月7日	上川管内教育委員会連合会教育長会議	旭 川 市	教育長
平成27年7月8日	社会を明るくする運動	役 場	教育長
平成27年7月8日	全道市町村教育委員研修会	札 幌 市	委員長他3名・教育長
平成27年7月9日	全道市町村教育委員研修会	札 幌 市	委員長他3名・教育長
〃	第6回教育委員会議	札 幌 市	委員長他3名・教育長

平成27年7月10日	上川管内中体連代表決定戦バスケットボール大会	総合体育館	教育長
平成27年7月14日	総合計画審議会	役場	教育長
平成27年7月20日	日本詩吟岳風会和寒支部創立55周年式典	公民館	委員長・教育長
平成27年7月21日	和寒小中学校管理職会議	公民館	教育長
"	和寒町立小中学校連携教育推進協議会	公民館	教育長
"	面接教育懇談日	公民館	教育長
平成27年7月22日	第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会	名寄市	教育長
平成27年7月24日	全町老人クラブ交流会	公民館	教育長
平成27年7月26日	開拓先人守護の塔献花式	三笠山	委員長・教育長
"	どんとこいわっさむ夏まつり	三笠山	委員長・教育長
平成27年7月27日	教科用図書採択教育委員会協議会	旭川市	教育長
平成27年7月28日	札幌自由が丘学園三和高等学校後援会設立準備委員会	公民館	教育長
平成27年7月29日	開村100周年記念式典	公民館	委員長他1名・教育長
"	ふるさと交流委員会	産業会館	教育長
平成27年7月30日	上川管内校長会北部地区研究会	公民館	教育長
平成27年8月3日	企画会議	役場	教育長
"	教科用図書採択教育委員会協議会	旭川市	教育長
平成27年8月9日	和寒町パークゴルフ選手権大会	総合運動公園PG場	教育長
平成27年8月10日	産業教育常任委員会	役場	教育長
平成27年8月11日	生活安全推進会議	役場	教育長
平成27年8月14日	議会全員協議会	役場	教育長
平成27年8月19日	北海道公立学校職員の永年勤続者表彰状伝達式	公民館	教育長
"	面接教育懇談日	公民館	教育委員・教育長
平成27年8月20日	三笠山大学学長杯PG大会	総合運動公園PG場	教育長
"	和寒小中学校管理職会議	公民館	教育長
"	新就業者のつどい	公民館	教育長
平成27年8月21日	第7回教育委員会議	公民館	教育長
"	開村100周年記念自治会対抗ナイターソフトボール大会	総合運動公園運動広場	教育長
平成27年8月23日	和寒町自治会対抗パークゴルフ大会	総合運動公園PG場	教育長
平成27年8月25日	和寒神社例大祭	和寒神社	委員長・教育長
平成27年8月26日	こども相撲大会	和寒神社	教育長
平成27年8月27日	文化財保護委員会	公民館	教育長
平成27年8月28日	産業教育常任委員会	役場	教育長
平成27年9月1日	企画会議	役場	教育長
平成27年9月3日	産業教育常任委員会	役場	教育長
平成27年9月3日	和寒小学校地域公開参観日	和寒中学校	委員長他1名・教育長
平成27年9月7日	上川管内公立小中学校教職員人事推進会議	旭川市	教育長
平成27年9月10日	第4回体育協会長杯PG大会	総合運動公園PG場	教育長

平成27年9月13日	和寒中学校学校祭	和寒中学校	教育長
平成27年9月15日	和寒小中学校管理職会議	公民館	教育長
平成27年9月16日	第3回町議会定例会	役場	委員長・教育長
平成27年9月17日	第3回町議会定例会	役場	委員長・教育長
〃	議会全員協議会	役場	教育長
平成27年9月20日	第24回和寒町ソフトテニス大会	総合運動公園	教育長
平成27年9月24日	交通安全旗旗並運動	ひだまり	教育長
〃	面接教育懇談日	公民館	教育長
〃	台湾国際交流研修事業帰町報告会	公民館	教育長
平成27年9月26日	第24回片平少年少女交流卓球大会	総合体育館	教育長
平成27年9月27日	天塩町・和寒町体育協会スポーツ交流	総合体育館	教育長
平成27年9月29日	北海道公民館協会上川支部役員会	剣淵町	教育長
平成27年9月30日	剣淵町との小中学校相互交流に関する調定式	剣淵中学校	教育長
平成27年10月1日	企画会議	役場	教育長
〃	第8回教育委員会議	公民館	委員長他3名・教育長
〃	上川管内教育研究会北部地区研究大会	公民館	教育長
平成27年10月5日	議会全員協議会	役場	教育長
平成27年10月6日	上川北部教育委員会教育委員研修会	士別市	委員長他1名・教育長
平成27年10月8日	上川管内教育委員会連合会教育長部会研修会	上富良野町	教育長
平成27年10月9日	上川管内教育委員会連合会教育長部会研修会	上富良野町	教育長
平成27年10月13日	教育先進地事情視察研修（～15日）	福井市	教育委員・教育長
平成27年10月19日	上川北部地区教育委員会教育長・教育長・代表校長合同会議	中川町	委員長・教育長
〃	面接教育懇談日	公民館	教育委員
平成27年10月20日	上川北部地区教育委員会教育長・教育長・代表校長合同会議	中川町	委員長・教育長
平成27年10月22日	和寒小中学校管理職会議	公民館	教育長
平成27年10月25日	和寒小学校学芸会	和寒小学校	委員長他2名・教育長
平成27年10月27日	北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会	札幌市	教育長
平成27年10月28日	まちひとしごと創生総合戦略特別委員会	役場	教育長
〃	旭川和寒会総会	旭川市	教育長
平成27年10月30日	企画会議	役場	教育長
平成27年11月3日	和寒町表彰式	公民館	教育長
〃	議会全員協議会	役場	教育長
平成27年11月4日	産業教育常任委員会	役場	教育長
平成27年11月5日	上川管内教育委員会連合会第2回委員研修会	東神楽町	委員長・教育長
平成27年11月6日	上川管内教育委員会連合会第2回委員研修会	東神楽町	委員長・教育長
平成27年11月11日	上川管内教育委員会連合会北部地区教育長研修会	下川町	教育長
平成27年11月12日	上川管内教育委員会連合会北部地区教育長研修会	下川町	教育長
平成27年11月13日	第9回教育委員会議	公民館	委員長他2名・教育長

平成27年11月13日	和寒町体育協会表彰式	公 民 館	委員長他2名・教育長
平成27年11月17日	和寒小中学校管理職会議	公 民 館	教育長
平成27年11月19日	面接教育懇談日	公 民 館	教育委員・教育長
平成27年11月23日	新嘗祭並びに勤労感謝祭	和 寒 神 社	委員長他1名・教育長
平成27年11月24日	町議会臨時会	役 場	教育長
平成27年11月25日	全員協議会	役 場	教育長
平成27年12月1日	企画会議	役 場	教育長
平成27年12月2日	三和高等学校後援会設立準備委員会	公 民 館	教育長
平成27年12月3日	産業教育常任委員会	役 場	教育長
平成27年12月5日	東山スキー場安全祈願祭	東 山 ス キ ー 場	委員長他2名・教育長
"	和寒町文化団体連絡協議会表彰式	公 民 館	委員長他2名・教育長
平成27年12月8日	三笠山大学「学生の主張発表会」	公 民 館	教育長
平成27年12月10日	和寒町総合教育会議	役 場	委員長他3名・教育長
平成27年12月11日	特別支援連携協議会	公 民 館	教育長
"	第1回教育支援委員会	公 民 館	教育長
平成27年12月15日	和寒小中学校管理職会議	公 民 館	教育長
"	議会全員協議会	役 場	教育長
平成27年12月17日	第4回町議会定例会	役 場	委員長・教育長
平成27年12月18日	第4回町議会定例会	役 場	教育長
平成27年12月21日	町長・中学生2年生と和寒の未来を考える会	和 寒 中 学 校	教育長
"	面接教育懇談日	公 民 館	教育委員・教育長
平成27年12月22日	総合計画審議会・まちひとしごと創生町民会議	役 場	教育長
平成27年12月30日	企画会議	役 場	教育長
平成28年1月6日	新年交礼会	役 場	教育長
"	第1回教育委員会議	公 民 館	教育長
平成28年1月8日	消防出初式	公 民 館	教育長
平成28年1月10日	和寒町成人式		
平成28年1月19日	上川管内教育委員会連合会教育長部会	旭 川 市	教育長
平成28年1月20日	議会全員協議会	役 場	教育長
平成28年1月21日	和寒小中学校管理職会議	公 民 館	教育長
平成28年1月27日	三和高等学校後援会設立準備委員会	公 民 館	教育長
平成28年1月28日	産業教育常任委員会	役 場	教育長
"	第2回教育支援委員会	公 民 館	教育長
平成28年1月29日	町議会臨時会	役 場	教育長
平成28年2月1日	企画会議	役 場	教育長
平成28年2月8日	議会全員協議会	役 場	教育長
平成28年2月14日	第35回北海道障害者冬季スポーツ大会	東 山 ス キ ー 場	委員長・教育長
平成28年2月15日	産業教育常任委員会	役 場	教育長

平成28年2月15日	平成28年交通安全祈願祭・定例表彰式	士 別 神 社	教育長
平成28年2月16日	総合計画審議会	役 場	教育長
平成28年2月17日	第2回教育委員会議	公 民 館	委員長他3名・教育長
平成28年2月19日	面接教育懇談日	公 民 館	教育委員・教育長
平成28年2月22日	和寒小中学校管理職会議	公 民 館	教育長
平成28年2月23日	教育特区学校審議会	公 民 館	教育長
平成28年2月24日	和寒中学校跡地利用検討委員会	公 民 館	教育長
平成28年2月25日	和寒小学校参観日	和 寒 小 学 校	教育長
〃	フッ化物洗口保護者説明会	保健福祉センター	教育長
平成28年2月26日	町長・小学6年生と和寒の未来を考える会	和 寒 小 学 校	教育長
〃	特別支援教育連携協議会講演会	公 民 館	教育長
平成28年3月1日	企画会議	役 場	教育長
平成28年3月2日	第3回特別支援教育連携協議会	公 民 館	教育長
平成28年3月4日	第1回町議会定例会	役 場	委員長・教育長
平成28年3月5日	町民スキー大会	東 山 ス キ ー 場	教育長
平成28年3月7日	札幌自由が丘学園三和高等学校後援会設立総会	公 民 館	教育長
平成28年3月11日	第1回町議会定例会	役 場	教育長
〃	議会全員協議会	役 場	教育長
平成28年3月12日	札幌自由が丘学園三和高等学校卒業証書授与式	三 和 高 等 学 校	
平成28年3月14日	第1回町議会定例会（一般質問）	役 場	教育長
平成28年3月18日	第1回町議会定例会	役 場	教育長
平成28年3月19日	和寒小学校卒業証書授与式	和 寒 小 学 校	委員長・教育長
平成28年3月22日	面接教育懇談日	公 民 館	教育委員・教育長
〃	上川管内教育委員会連合会	旭 川 市	委員長
〃	今後の組織の在り方検討委員会		
平成28年3月23日	議会全員協議会	役 場	教育長
〃	和寒小中学校管理職会議	公 民 館	教育長
〃	第3回教育委員会議	公 民 館	委員長他3名・教育長
平成28年3月24日	三笠山大学卒業式	公 民 館	教育長
平成28年3月25日	町議会臨時会	役 場	教育長
平成28年3月28日	上川管内教育委員会連合会教育長部会	旭 川 市	教育長

4. 教育委員会議の点検評価

(1) 議事について

条例や規則の改廃、各種委員の承認等、事務的な手続きによるもの以外については、各委員の高い識見と課題解決に向けた積極的な発言が多く、各委員への事前の情報提供等などにより、円滑な議事が進行できた。

議案として取り扱う中でも、内容の軽重を吟味・精査し、慎重な審議が必要な案件について時間をかけて議論することができるよう、説明や資料の提示や方法等も含めて、適切な議事運営に努めることができた。

(2) 学校訪問について

例年、教育委員会議の開催に合わせて、小学校又は中学校を訪問し、それぞれの学校の取組について校長、教頭から説明を受けた後、児童生徒の学習の様子を見学し、子どもたちの学びの様子や学校の運営方針、施設、教育環境、授業等、様々な視点で学校の良さや抱えている諸課題等を把握し、更に、学校給食についても、自ら試食体験をすることで、安全安心な給食を確認しておりますが、本年度は、小学校の交通事故に伴う諸会議が重なったことで学校訪問は見合わせることにした。

次年度は、例年どおり実施することとしている。

(3) 各種行事、会議、研修会等への参加について

小・中学校の入学式、運動会、体育祭、学芸会、学校祭、卒業式などの学校行事には、積極的に出席した。また、教育委員会が主催する教職員辞令交付式をはじめ社会教育各種事業や各種大会等の出席はもとより、全道、上川管内、上川北部地区の委員研修に参加し、教育委員としての自己研鑽にも努めた。

5. 教育委員会議の課題と対応方法

教育委員会議については、毎月1回基本として開催することとし、予定どおり開催ができた。各委員にあっては大変多忙な時もあり、次回の日程を全委員で決めるなど、できるだけ早い時期に開催日を決定するよう努めている。

また、常に定められた議案審議のみならず、委員自身が日頃から感じている教育に対する諸課題や問題点について共通な課題として捉え、全員で協議しながら早急に解決できるもの、時間をかけて議論を重ねていくものなど、整理しながら教育環境の整備充実に努めている。

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、小・中学校連携教育推進協議会が町教研と併せて学力向上や生活習慣見直し等について学校と連携して進めており、平成23年度から25年度の3年間実施した小中学校ジョイントプロジェクト事業を継承しながら、今後も小・中学校連携教育推進協議会が中心となり継続した取り組みが必要と考えている。

また、学校での「いじめ」が社会問題となっているが、教育委員会と学校が情報を共有して取り組み、その学年の問題だけでなく学校全体で取り組むことによって早期発見、早期解決が図れるよう作成した「いじめ問題対応マニュアル」は、児童・生徒の小さな変化を見逃すことのないよう、日々子ども達と向き合う学校管理職員をとおして教師に注意を促すと共に、アンケート調査等を実施するなどし、問題が発見された場合は、速やかに解決に取り組むなど教育委員会と学校が連携を密にして対応することとしている。

なお、国のいじめ防止対策推進法の施行に伴い、「和寒町いじめ防止基本方針」を定め、いじめの未然防止、早期発見、早期解決のための対策に関する基本的な方針といじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に進める環境づくりにも努めている。

教育委員は、気軽に学校を訪問し、学校内の環境問題や学校が抱える問題点や課題等を的確に把握し、迅速に対応するよう努めている。

Ⅲ 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検評価について

1. 学校教育関係評価項目

主 要 施 策 名		重 点 項 目
1	学習指導の充実	①「確かな学力を身につけ、豊かな心を育み、健やかで逞しい心身の発育」を目指す
2	家庭・地域と連携した教育推進	①と学校評価による成果を検証し、よりよい学校運営の推進
3	特別支援教育の充実	①個々に対応した教育実践と支援員の活用
4	国際理解教育の推進	①外国語指導助手派遣事業の推進 ①中学生国際交流事業台湾研修
5	教育相談窓口の整備	①教育相談窓口の開設と推進
6	学校給食の提供 食育の推進	①学校給食の推進
7	教育学習等の環境整備	① 学校教材の整備 ② 和寒町高等学校生徒通学費補助 ③ 「土曜日の教育活動」の取組
8	廃校施設の活用 札幌自由が丘学園三和高等学校への支援	①小中学校廃校跡地の活用 ②三和高等学校への支援

施策の評価（1）

《総合計画施策体系の主要施策名》 学習指導の充実
《重点項目》 「確かな学力を身につけ、豊かな心を育み、健やかで 逞しい心身の発育」を育てる
《平成 27 年度取組の概要》 ① 基礎的、基本的な知識の定着と課題解決的な学習や探究活動を重視した授業づくり ② 教職員の授業力や生徒指導の力量を高める ③ 読書推進活動の取組 ④ 安心、安全信頼される学校づくり ⑤ 小・中学校ジョイントプロジェクト事業 ⑥ 学ぶ力を育む推進事業
《実施状況》 ① 確かな学力を身につけ基礎的・基本的な内容の定着を図るため、学ぶ楽しさや分かる授業の工夫に努めるとともに、加配教員を活用して、少人数指導や習熟の程度に応じた指導を行うなど、定着の状況に応じた指導の充実に向けて、きめ細やかな指導に努めています。 ② 町教研公開研究会を実施し、小中学校の全教職員が指導体制や指導方法の充実に向けて協議を深め、小中学校が連携した指導を行えるよう努めています。小学校と中学校で校内研修のテーマを共有し、子どもの実態に応じた指導方法の改善・充実を図る研修を進めています。児童、生徒ひとり一人に対し、わかる喜びが実感できる授業、自ら進んで学ぶ意欲を持たせる授業に努めています。 ③ 小学校では、毎週月曜日の朝学習の時間を読書に決めて全校一斉に取り組んでいます。週のスタートを落ち着いた静かな環境で学習に臨めるよう工夫している。また学期に1度「読書強化週間」を3週間設定し、その期間に読んだ本について「読書紹介カード」を作成し、全校児童のカードを多目的ホールに掲示するなど、望ましい読書習慣が確立される取り組みを行ってきました。 ④ 学校内部評価や保護者等の外部評価、更には学校評議員制度の活用による学校運営等の改善に努めています。 いじめや体罰が問題となっていますが、学校全体の問題と捉えて教育委員会と連携しながら問題解決に努めています。 ⑤ 北海道学力向上トリプルUP事業「連携力UP」小・中学校ジョイントプロジェクト事業は3年間の道教委指定は終了しましたが教育委員会、学校で連携しながら小中学校連携推進協議会を継続し、長期休業期間に「チャレンジテスト」、「プリントまなぼう」「礎」を活用した、国語と算数の学習サポート事業を実施しています。個に応じた指導充実が図られるよう、教職員に加えて学生サポーターが指導に当たるようにし、教育の向上を目指しました。 小学校と中学校が連携し、義務教育9年間を見通し、一貫性・連続性のある学習指導等のあり方について、相互理解を深め、通学合宿事業等を行い、総合的に児童生徒の確かな学力を身に付けるとともに豊かな心と健やかでたくましい心身の育成を図ります。 ⑥ 平成 26 年度から平成 28 年度の3ヵ年事業「学ぶ力を育む推進事業」では、授業力向上のため、教育事情先進地視察として教育委員2名、中学校校長、小学校教諭、中学校教諭により

福井県坂井市の鳴鹿小学校、丸岡南中学校を視察しました。また、教育力向上研修事業として教員の全道、全国研究大会への研修参加支援費を措置し積極的な参加を促進しております。さらに、教育力向上を目指し、流通経済大学教授小松郁夫氏を講師に教育力向上講演会を実施しました。

また、平成27年度より教育アドバイザーを1名設置し、教育活動等に対する支援や助言、子どもの学びの充実に向けた方策の企画・立案により学習環境の整備を図るため、小学校で学習支援を行うとともに、毎週木曜日の放課後に「ステップ・アップ教室」を開設し73名が登録し、基礎・基本の学習の定着を図っています。

《点検評価》

- ① 小学校では朝学習の時間を学びタイムと称し、基礎的・基本的な学力の向上が図られ、また、家庭学習に取り組む子どもが増えてきました。中学校では徐々にではありますが、学習規律の徹底やTTの導入などから自ら学ぶ姿勢が見えています。
- ② 小・中学校が、研修テーマを共有し、小中学校が連携して指導方法や指導体制の充実に向けて取り組むことができるよう教員の授業力向上が図られています。
- ③ 町立図書館司書が選定した図書館からの配本を各教室に配置し、ブックトークを通して本の面白さや読書の楽しさを伝える工夫をし、読書習慣の確立を図っています。
- ④ 学校の内外部評価の定着化が進み、更には学校評議員制度の活用により、一定の学校運営等の改善が図られました。

いじめや体罰のない学校づくりを目指してアンケート調査で事件の掘り起こしをして早期解決を図りました。

- ⑤ 学校では児童生徒の現状課題を見据えて、教職員が活発な意見交換を行い、指導方法や指導体制の充実に向けて協議することができた。また、夏休み・冬休みには学生サポーターによる学習サポート事業に取り組み、児童生徒の学習意欲の向上を図ってきました。義務教育9年間を見通した基本問題集「礎」の新学習指導要領に基づいた内容に改訂し、一層の基本学力の向上に向けた取り組みを行っています。更に、小学生を対象とした通学合宿に取り組み、正しい生活リズム定着、家庭学習への一定の効果がありました。
- ⑥ 学力テスト全国上位の学校視察や全道全国規模の、視察研修機会も増え教職員の授業力教師力向上のための充実を図りました。

また、ステップアップ教室では、競争心、集中力が増し、基礎学力が形成されてきており、計画性も徐々に育成されています。

《今後の課題と対応方法》

- ① 学力検査結果などによる現状を検証する中から、基礎的学習内容の指導方法の研究を進め、児童生徒一人ひとりに対しわかる喜び、できる喜びが実感でき、自ら進んで次のステップへの意欲が沸き立つよう授業内容の工夫に取り組んでいきます。
- ② 校内研修の充実を図ると共に、先進校などの実践例に学び、課題解決に向けた講習会、研修会等への参加により更なる教員の資質向上が求められます。
- ③ 小中学校の全校一斉朝読書の継続や、学校図書の実施を図るとともに、町立図書館と連携した読書推進により言葉を学び、感性を磨き表現力が高まるよう読書推進活動事業を推進していきます。
- ④ 学校の内外部評価や学校評議員制度活用の定着化が進み、今後も一層の学校運営等の改善に努力します。

いじめや体罰に対する対策マニュアルをはじめ、「いじめ防止基本方針」に基づき対応します。

- ⑤ 道教育委員会から三年間の指定を受けた「小・中学校連携教育推進校」として策定した「和寒町ジョイントプロジェクト実践計画」は、指定が終了した26年度も町独自で引き続き実践しています。小中学校、社会教育の連携のもと、家庭や地域の協力を得ながら、実践の成果を踏まえ、定着へ向けた取り組みへと進めていきます。教職員による共通理解を一層深めると共に、指導方法や体制を確立させ、全国学力・学習状況調査やC R T検査の分析により明らかになった課題については、義務教育9年間を見通した指導計画の改善に生かすとともに児童生徒の着実な学力向上を図ります。また、家庭における規則正しい生活習慣、家庭学習を身につけるために作成した家庭学習の手引きの活用取り組みを継続します。
- ⑥ 学力向上の体制とともに体力向上に向けた取組が必要です。

施策の評価（2）

《総合計画施策体系の主要施策名》 家庭・地域と連携した教育推進
《重点項目》 情報公開と学校評価による成果を検証し、より良い学校運営の推進
《平成27年度取組の概要》 ① 保護者等アンケート調査による外部評価 ② 学校評議員制度の活用により学校運営等の改善 ③ 教育活動や学校経営の積極的な情報公開に努める
《実施状況》 ① 保護者アンケートを実施し、児童生徒の学習向上の成果などの学校教育活動の評価を行い、学校運営等における改善に努めています。 ② 各学校で学校評議員による会議を年3回開催し、目標設定・中間報告・年度末評価を行っています。 ③ 地域公開参観日の実施、学校だよりを定期的に発行し全町民への広報活動に努め、インターネットによるホームページを開設して情報公開を行っています。
《点検評価》 ① アンケートにおいて、基礎基本の定着や家庭学習の定着について、生徒・保護者そして職員の3者から課題があげられた。今年度の努力を基にしながら、次年度さらなる具体的取組を進めるための指標となっています。 ② 学校評議員による評価と、多方面からの意見が出され学校活動改善等の充実に繋がっています。 ③ 授業参観等の学校公開、学校だよりの定期的な発行やホームページの開設により情報公開の充実を行っています。
《今後の課題と対応方法》 ① 地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携を密にし、多様な情報を発信しながら特色ある教育活動を展開することに努めます。

施策の評価（3）

《総合計画施策体系の主要施策名》 特別支援教育の充実
《重点項目》 個々に対応した教育実践と支援員の活用
《平成 27 年度取組の概要》 ① 小学校 3 教室（知的、言語、情緒）と中学校 1 教室（言語）の設置 ② 小学校に支援員を 2 名、中学校に 1 名を配置 ③ 特別支援連携協議会、校内委員会の設置による支援体制の整備
《実施状況》 ① 特別支援学級は、それぞれに個別の指導計画を立て指導を行っています。通常学級に在籍する特別な支援の必要な児童については、特別支援教育コーディネーターを中心に全教職員の共通理解のもと、協力学級担任との連携支援体制を組んでいます。 ② 小学校の低学年、高学年に各 1 名支援員を配置し、学校の支援体制づくりの充実が図られています。また中学校には 1 名配置しています。 ③ 地域住民も対象とした教育力向上講演会として講演会を開催し、地域住民の理解を深める取組を推進しています。また、鷹栖養護学校教員の小中学校への定期的な訪問により、特別支援教育や研修会などを開催しています。
《点検評価》 個々の興味や関心を高めながらきめ細かな指導をするため特別支援学級用教材備品等を活用し、より基礎的・基本的な学習を楽しく学ぶことができるようになるなど、一定の成果は上がっているものと評価できます。
《今後の課題と対応方法》 ① 関係機関との連携を図り、個々の実態把握と適切な相談・支援体制を確立し、ひとり一人に応じた教育の充実を図っていきます。 ② 今後も小中学校に支援員を配置し、より安定した学級運営を図ります。 ③ 地域住民の理解を得られるよう取組を継続していく必要があります。

施策の評価 (4)

《総合計画施策体系の主要施策名》 国際理解教育の推進
《重点項目》 「外国語指導助手派遣事業」の推進 中学生国際交流事業台湾研修
《平成 27 年度取組の概要》 ① 幌加内町と共同で ALT を委託契約し町内小中学校に派遣 ② 国際交流研修事業として中学 2 年生を台湾での海外研修に参加
《実施状況》 ① 週 2 日（月曜日に中学校、火曜日に小学校）外国語指導助手を派遣 小学校では 1～4 年生の総合学習の中で英語にふれあう時間を設定 5・6 年生では外国語時間の年間 35 時間の外国語活動を実施 中学校では 1～3 年生の英語教科の中で活用 ② 国際交流研修事業は、8 月 10 日より 4 泊 5 日 32 名参加
《点検評価》 ① 生きた英語に触れることにより、日常会話や外国文化、生活、習慣などを学び、英語の正しい発音や表現力、コミュニケーション能力の育成が図られました。 ② 台湾という国のことを直接触れることで台湾の文化や歴史、風土とその暮らしぶりを肌感覚で知ることが出来、また、現地の学校の生徒との交流でお互いの理解と友好の気持ちが芽生えました。さらに、研修を通して集団生活についてルールとマナーの大切さを学んだことは生徒達にとって大きな成果となりました。また、1 月に実施していることで参加できない生徒がおり、時期の見直しが必要との課題があったため、今年度より開催時期を 1 月から 8 月に移行し実施しました。
《今後の課題と対応方法》 ① 引き続き広域での ALT を派遣し、小学校では、身近なコミュニケーション能力の素地を養い、中学校では、学ぶ語数が増加するなど聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの 4 技能をバランスよく育成強化を目指します。 ② 子どもたちが広い見識と豊かな感性や国際感覚を育み、大きな夢と希望を持った健全な心身の成長に役立つことから、中学 2 年生全員を参加対象とし、引き続き台湾での交流を充実させ、生徒間の相互交流に結びつく事業を展開していきます。

施策の評価（５）

《総合計画施策体系の主要施策名》 教育相談窓口の整備
《重点項目》 教育相談窓口の開設と推進
《平成 27 年度取組の概要》 ① 和寒町教育委員会教育相談電話の開設（教育相談ホットライン） ② 教育委員による教育面接相談の実施
《実施状況》 ① 和寒町教育委員会教育相談電話実施と「ホットラインカード」の配布 ② 教育 面接相談を毎月 19 日に設定（年 12 回）
《点検評価》 ① 児童、生徒、父母たちがどんな些細なことでも、いつでも担任や先生方の誰にでも相談できるよう配慮しているが、教育委員会でも積極的にご相談できるよう、電話相談体制が開設されています。常に適切な相談体制を維持し、対象者にとっては窓口が開設されている安心感を提供していることから一定の評価ができます。 ② 面接相談開設についても、教育委員が自ら相談員として奉仕活動にあたっており、その任務に対する責任感が伺えます。
《今後の課題と対応方法》 ① 教育相談電話「教育相談ホットライン」はホットラインカードを作成し児童・生徒と保護者に配付し、身近なホットラインとして気軽な利用を呼びかけています。年間で数回の利用に留まっていますが、今後も継続して行う必要がありますので、保護者への認知度を高める工夫や相談者側にたった利便性について検討する必要があります。 ② 教育委員による面接相談については、毎月 1 回教育委員と教育長の 2 人体制で対応することとして、相談日は毎回児童を通して保護者に案内をしていますが、相談は 2 件と少ない状況にあります。 しかし、問題はいつ、何時に起こるかわからず、常に対応できるよう備えておくべきことから、今後も継続して実施していきます。

施策の評価 (6)

《総合計画施策体系の主要施策名》 学校給食の提供 食育の推進
《重点項目》 学校給食の推進
《平成 27 年度取組の概要》 ① 士別市学校給食センターから和寒小中学校に給食の提供 ② 士別市職員栄養士による食育指導の実施 ③ 学校給食費徴収金 3 割助成
《実施状況》 ① 小学校：児童教職員 174 名 33,207 食・中学校：生徒教職員 97 名 17,970 食 ② 食に関する栄養指導の実施 ③ 学校給食費 町負担額 小学校 1,978,392 円 中学校 1,188,560 円
《点検評価》 ① 士別市給食センターでは衛生管理の徹底に努められ、安心・安全な給食の提供がされ、一定の成果を上げているものと評価できます。 ② 学校給食センターの栄養教諭派遣授業により、児童の食に対する理解を深めることができました。また、配食作業における衛生管理指導や食事マナー指導は実践できています。 ③ 3 割を助成することで、保護者の負担軽減が図られています。
《今後の課題と対応方法》 ① 給食については、異物混入等事故が発生しないよう衛生管理の徹底に努めるとともに、食物アレルギー等を有する児童・生徒に十分留意しながら、安全で安心な給食が提供されるよう努めていきます。 ② 食育については、学校菜園の有効活用や体験学習などをおして、食を育てる教育から理解を深めるとともに、朝食の大切さやバランスのとれた正しい食生活が守られるよう、保護者の理解と協力、連携を図りながら、健全な食生活の推進を図っていきます。 ③ 和寒町の食材を使用したふるさと給食を 3 月に実施しましたが、回数を増やしていくよう今後も士別市給食センターに要望していきます。 ④ 今後も継続し、保護者の負担軽減を図っていきます。

施策の評価 (7)

《総合計画施策体系の主要施策名》 教育・学習等の環境整備
《重点項目》 ① 学校教材の整備 ② 和寒町高等学校生徒通学費補助 ③ 「土曜日の教育活動」の取組
《平成 27 年度取組の概要》 ① 一般教材備品購入、学校図書備品購入 ② 和寒町高等学校生徒通学費補助 ③ ジュニア・イングリッシュ講座の開設
《実施状況》 ①一般教材備品、学校図書備品の整備 ②高校生の通学費の一部について補助し、計 89 名に対し補助を実施しました。 ③小学 1 年生から 6 年生を対象に英語を母国語とする講師による「ジュニア・イングリッシュ講座」を開設。月 1 回実施し、低学年 33 名、高学年 29 名が登録し参加しました。
《点検評価》 ①学校の要望に応じた備品の整備を行い学習環境の整備充実を図った。 ②通学費の補助により保護者の負担を軽減することが出来ました。 ③外国人講師による発音やイントネーションなど、生きた英語を自然と吸収でき、英語に慣れ親しみながらコミュニケーションを図ろうとする姿勢が育ってきています。
《今後の課題と対応方法》 ①今後も効果的に指導できる教材の整備を進めていきます。また、学校図書備品は、計画的に整備を行ったことで蔵書数は標準冊数に達していますが、今後も図書館司書と連携協力しながら、小中学校の図書室が利用しやすい環境づくりと蔵書の充実に努めていきます。 ②今後も継続し、高校生の通学費に係る経費の負担軽減を図っていきます。 ③継続して実施し、英語を楽しみながら学びコミュニケーション能力の素地を高めていけるよう計画していきます。

施策の評価（８）

《総合計画施策体系の主要施策名》 廃校施設の活用 札幌自由が丘学園三和高等学校への支援
《重点項目》 小中学校廃校跡地の活用 三和高等学校への支援
《平成 27 年度取組の概要》 現在の利用状況 ・ 旧三和小学校：構造改革特区認定による株式会社立の高等学校の設置 ・ 旧中和小学校：家具工房たいむ・柳田氏（個人貸付） ・ 旧西和小学校：第 2 郷土資料館 ・ 旧北原小学校：北原交流展示館 ・ 旧中学校第 2 体育館：チップ原料製造工場
《実施状況》 ・ 旧三和小学校：札幌自由が丘学園三和高等学校は、月 1 回の対面授業や夏・冬と 2 回、和寒の自然や行事をスクーリングとして活用、町内の事業所の協力を得て職業体験を実施し、実践発表会の公開の場を 2 月に設けています。また農業体験やカヌー体験など各種体験学習も行っています。 ・ 平成 25 年度から東京のフリースクール「東京シュレー」と連携し、王子学習センターと新宿学習センターを開設、平成 27 年度に流山学習センターが開設され、夏・冬に和寒町のフィールドを活用したスクーリングを実施しました。 ・ 平成 28 年 3 月に札幌自由が丘学園三和高等学校後援会が設立されました。
《点検評価》 スクーリングにおける体験学習や地域行事への参加を通じ、都市部に暮らす若者たちに地方の良さと生徒と町民が交流を図り、その体験が進路に大きな示唆を与えたという生徒もいて、体験学習や地域行事への参加が大きな成果となっている。
《今後の課題と対応方法》 ・ 旧中学校跡地活用については、今後も関係機関や町民のご意見を頂きながら活用の方向性をまとめていかなければならない。 ・ 町外から移住し施設を利用されている関係者に対する支援をどのように図っていくか、また、長く利用していただくための方策や地域との関係も合わせて検討していかなければならない。 ・ 東京学習センターを開設し新しく学生を受け入れているが、人数が増えることにより活動が増加し、今まで農業体験を受入てきた三和菊野地区の負担が大きくなり調整が必要となってきました。 ・ 後援会が設立し、平成 28 年度から夏季・冬季スクーリングなどにおける受け入れについて、さらに連絡調整や情報交換を密にし、学校が行う諸行事等への協力を行っていく。

2. 社会教育関係評価項目

主 要 施 策 名		重 点 項 目
1	家庭・地域の教育力の向上への支援と充実	①子どもの健やかな成長・発達のための家庭教育と子育て支援の充実 ②地域で子どもたちを守り育てる環境づくりの促進
2	社会教育活動の充実	①生涯各期における学習活動の促進 ②町民参画や協働による社会教育活動の充実
3	社会教育推進と文化振興のための基盤整備	①生涯学習環境の整備活用と人材育成
4	芸術文化活動の充実	①芸術文化活動の充実
5	郷土文化の継承	①文化財の保全と活用の推進

施策の評価 (1)

《総合計画施策体系の主要施策名》 家庭・地域の教育力の向上への支援と充実
《重点項目》 ① 子どもの健やかな成長・発達のための家庭教育と子育て支援の充実 ② 地域で子どもたちを守り育てる環境づくりの促進
《平成 27 年度取組の概要》 ① 地域の人材の特技や学習の成果を生かし、親子を対象にした学習活動や体験活動の充実。 ② 子育て支援センターや図書館などと連携し、子育て支援や家庭教育に関する情報の共有と家庭教育の充実 ③ 家庭教育に関する情報や事業活動についての継続した情報提供の充実 ④ 子ども安全推進事業や学校支援地域本部の理解啓発と町全体で子ども達を守り育てる環境づくり
《実施状況》 ① 小中ジョイントプロジェクト事業として、小学4～6年生を対象に子ども達の望ましい生活習慣の定着を図る通学合宿「わっとさむスクール」と保護者向けの教育力向上講演会を実施。 ・通学合宿：7月15日（水）～18日（土）と10月7日（水）～10日（土）の2回開催 1回目：21名参加 2回目：18名参加 ・教育力向上講演会：PTAや地域、教育関係者向けに年3回開催。 - 第1回「子どものうちからの生活習慣病予防」 11月20日（金）28名参加 - 第2回「自分の能力を最大限引き出す食事とは」 12月 2日（水）22名参加 - 第3回「南アフリカ共和国ヨハネスブルグに暮らして」 2月 9日（火）23名参加 1歳6ヶ月、3歳児健診、新一年生一日入学時での子育て支援情報資料の配布。 夏・冬休み期間中に、小学4年生～中学3年生を対象とした、学習サポート事業を各学校で実施。登録者夏休み：小学生24名 中学生29名 冬休み：小学生34名 中学生40名 ② 小中ジョイントプロジェクト事業として、夏休みと冬休み期間に全小中学生を対象に生活リズムチェックを活用した子ども達の望ましい生活習慣の定着への取り組みを実施。（3週間）広報誌を活用し、家庭教育情報「こらからの家庭教育」を掲載。 ③ 広報誌等を活用し、こどもの安全見守り隊等の活動PRとボランティア募集を実施。 こどもの安全見守り隊による街頭指導日、登下校時、活動強化指定日（毎月5の付く日）の見守り活動の実施。 ・こどもの安全見守り隊登録者：18名 - 子ども達の緊急避難場所としての「こども110番の家」活動や事件の抑止効果のための「にこにこパトロール隊」活動の実施。 ・こども110番の家設置数：43箇所 ・にこにこパトロール隊協力者数：個人44名、事業所13社、公共施設3施設 学校支援ボランティアによる授業の補助支援活動（水泳、体育、スキー授業）及び環境整備等の実施、学校支援ボランティア研修会への参加。ボランティア登録者数：90名 三笠山大学（高齢者大学）と和寒小学校が姉妹校提携協定を結び、大学生が和小さい祭り等の各種小学校行事に参加。

《点検評価》

- ① 通学合宿に参加した子ども達21名は、異年齢での集団生活の中で規則正しい生活を実践できたことで、「生きる力」を育み、相手を思いやり協力する大切さや望ましい生活習慣について考えるきっかけづくりができました。

教育力向上講演会を3回開催したが、参加者は教職員やPTA役員ばかりで、より多くの保護者が参加したいと思えるような興味関心のある内容に絞って実施する工夫が必要です。

保健福祉課、学校等と連携し子育て支援の情報提供や図書館と連携し絵本の読み聞かせ会を実施。子ども達に読書の楽しさを感じてもらい、読書活動を推進することができました。

夏休み・冬休み学習サポート事業で、教員、学生ボランティアの学習サポートを受け、復習や問題集に取り組み学習することで、学校授業とは別の角度から勉強の楽しさや学習習慣の定着を図る事ができ、中1ギャップへの対応を図る事ができています。

- ② 子ども達が生活リズムチェックシートに取り組むことにより、親子で規則正しい生活リズムについて考え、早寝早起きの重要性を意識付けすることができました。

広報誌を活用した家庭教育情報を提供し、家庭の教育力向上を推進することができました。

- ③ 子ども達の登下校時の安全見守り活動が、地域住民によるボランティアで実施され、子ども達の安全を確保することができ、地域ボランティアと子ども達があいさつを交わし交流を深めることができました。(あいさつ運動の実施)

学校支援ボランティアによる授業の支援活動や環境整備活動を実施し、地域の教育力を生かせる場ができています。

三笠山大学生が和寒小学校の各種行事(和っ子まつり、生活課授業等)に参加。子ども達との世代間交流を通して、感謝の気持ちや高齢者の知恵や経験を学び、郷土愛と豊かな心を育むことができました。また、大学生は子ども達と触れ合うことで、自らの知恵や経験を伝える事ができました。

《今後の課題と対応方法》

- ① 家庭教育や子どもの生活習慣についての関心が希薄な保護者に対し、興味関心を持ってもらえるような企画を計画し、幅広く家庭教育、規則正しい生活習慣の重要性について情報提供できるよう努めていきます。

- ② 通学合宿を継続的に実施すると共に、子ども達が逞しく「生きる力」を育み、望ましい生活習慣が定着するよう努めていきます。

保健福祉課、図書館、関係機関等と連携を図りながら、各家庭へ子育て支援情報を継続的に提供すると共に関係機関との連絡の強化に努めていきます。

- ③ 生活リズムチェックシートを活用し、親子で話し合いながら規則正しい生活習慣について考え、実践することにより、望ましい生活習慣の定着に努めていきます。

教育力向上講演会を小中学校等と連携しながら計画し開催していきます。

- ④ 「こども安全見守り隊」「こども110番の家」「にこにこパトロール隊」など地域ボランティアの協力を得ながら、子ども達の安全確保とあらゆる事件・事故抑止に努めていきます。学校支援事業を継続し、登録ボランティアの活用については、より効果的な活用を模索していきます。

三笠山大学と和寒小学校とが世代間交流し、子ども達が先達の知恵と経験が学べる場を継続的に実施できるよう努めていきます。

施策の評価（２）

《総合計画施策体系の主要施策名》 社会教育活動の充実			
《重点項目》 ① 生涯各期における学習活動の促進 ② 町民参画や協働による社会教育活動の充実			
《平成 27 年度取組の概要》 ① 社会情勢や生涯学習に関わる情報を収集して、町民の学習要求の把握 ② 町民の学習の成果を生かせる環境づくりと、地域の人材の発掘 ③ 町民の参加意欲を高めるための学習情報の発信と社会教育事業の実施 ④ 生涯各期に応じた社会教育事業の充実			
《実施状況》 ① 公民館運営審議会委員会議の開催（３回） 社会教育中期振興計画策定委員会議の開催（４回） 公民館職員研修会等への参加 ・北海道社会教育委員長等研修会（１名参加） ・管内社会教育委員・公民館運営審議会委員等合同研修会（１名参加） ・北海道公民館大会（２名参加） ② 学校支援事業での授業補助支援の実施 ・プール授業の補助支援（小中学校） ７月～８月 １０回 協力者数：１名 ・スキー授業の補助支援（小学校） １月～２月 ５回 協力者数：３名 ・小学校雪山づくり １月１８日（月） 協力者数：４名 ・こども館までの下校指導 ５月～３月 ２８回 協力者数：２名 三笠山大学生による通学合宿での児童たちへの食事賄いの実施。 ・通学合宿：７月１５日～１８日と１０月７日～１０日の２回開催 協力者数：４名 ③ 各種公民館講座の実施。 ・短歌教室 ５月１６日 ６名参加 ・ごごの朗読会 ６月 ６日 １５名参加 ・そろばん教室 ８月７～９日、１１～１４日 ７回開催 延べ３４名参加 実７名 ・コミュニケーショントレーニング １２月 ８日 ３４名参加 ・短歌入門教室（自主企画） １２月１５日 １３名参加 ・家族で作ろう秘伝の一品 １月２４日 １２名参加 ４家族 ・チーズ！チーズ！チーズ！ ３月１２日 ２５名参加 ・こどもプログラミング教室 ３月２６日 １３名参加 ④ 一市二町合同ジュニアリーダー研修会の実施 ・第Ⅰ期：宿泊研修学習２日間 第Ⅱ期：野外活動２日間 第Ⅲ期：宿泊研修学習２日間 年３回 小学５年生対象 和寒町２４名参加 土曜日の教育活動推進プラン「わっとさむドキドキクラブ」の実施。 ・子どもたちの学力・体力向上と生きる力を育むため、土曜日の午前中に学習、スポーツ、体験活動等を実施。（年間１６回）小学１～５年生２３名登録 延べ１７７名参加 各種社会教育事業の実施 ・かたくり庵のつどい（お茶会、短歌会 １３７名参加） ・三笠山大学（高齢者大学１２回 登録６６名） ・女性セミナー（４回 延べ７４名参加）			

- ・新就業者のつどい（新社会人、青年への講演会と交流会 13名参加 対象者24名）
- ・成人式の実施（32名参加 対象者38名）
- ・青年研修として、公民館講座コミュニケーショントレーニングの開催。（各青年団体へ呼びかけ自己研鑽意識を図った。（34名参加）

《点検評価》

- ① 公民館運営審議会で、各種事業についての審議及び各種研修会への参加で、社会教育について学習を深めることができました。
- ② 地域ボランティアの協力を得ながら児童・生徒へ授業補助支援や児童館までの引率などを実施する学校支援事業や通学合宿における児童への食事賄いを三笠山大学と連携し、地域の教育力や技能を生かせる場と世代間交流の場を提供することができました。
- ③ 不定期ではあるが8講座14回の公民館講座を開催し、子どもから高齢者まで幅広く生涯学習活動への支援ができました。
- ④ 各種社会教育事業を実施し、多くの町民に学習機会と生涯学習の充実を図ることができました。

《今後の課題と対応方法》

- ① 町民の多様な学習要求に応えられるよう、各種研修会に参加し社会情勢や生涯学習に関わる情報収集や各関係機関・団体・市町村間との連絡強化に努めていきます。
- ② 町民の学習の成果を生かせる環境づくりと地域の人材発掘の情報収集に努めていきます。
- ③ 町民が、社会教育活動や生涯学習に興味、関心を持ってもらえるようなその時々時代に合った企画に努めていきます。
- ④ 町民の多様な学習要求に応えられるよう、社会情勢を踏まえて、定期的な学習機会の提供に努めていきます。

施策の評価（３）

《総合計画施策体系の主要施策名》 社会教育推進と文化振興のための基盤整備
《重点項目》 生涯学習環境の整備活用と人材育成
《平成 27 年度取組の概要》 ① 社会教育関係施設職員の資質向上のための研修機会の拡充 ② 社会教育関係施設とその活動状況や情報の共有による連携の強化 ③ 和寒町未来を拓く人づくり推進事業の推進 ④ 文化・スポーツ団体等の活動紹介や指導者について情報提供し、会員増に向けた啓発 ⑤ 文化・スポーツ振興基金を活用した指導者育成の支援
《実施状況》 ① 各種研修会等への参加。 ・社会教育主事等共同研究（５回、延６名参加） ・管内社会教育実践研究全体研修会（２名参加） ・管内社会教育・社会体育実践研究セミナー（２名参加）他 ② 社会教育委員会議の開催（３回開催）。 ③ 和寒町未来を拓く人づくり推進事業補助を活用した、台湾での国際交流研修の実施。 ・国際交流研修 ８月１０日（月）～１４日（金）開催（４泊５日）開催地：台湾（高雄、台北） 対象者：中学２年生 参加者：３２名（引率者４名） ④ 和寒町の社会教育の発行。社会教育の概要、文化・スポーツ団体紹介等 ⑤ 文化振興基金補助及びスポーツ振興指導者養成補助の周知及び支援の実施。 ・文化振興基金補助 ２件 ・スポーツ振興指導者養成補助 ５件
《点検評価》 ① 各種研修会、研究会に参加し、社会教育担当職員の資質向上に努めました。 ② 社会教育委員会議を３回開催し、社会教育関係施設の活動計画・状況報告や各種事業の課題と評価についての協議や各種情報の共有と連携を図る事ができました。 ③ 台湾での国際交流研修で現地の学校との交流を実施。国際社会に向けた、子ども達の視野の拡大と異文化に触れることで、外国語の必要性や学習に対する意識変革を図ることができました。 ④ 和寒町の社会教育（冊子）を作成。社会教育の概要、文化・スポーツ団体等の活動紹介や指導者についての情報提供ができました。 ⑤ 各関係団体等への文化振興基金補助及びスポーツ振興指導者養成補助の周知及び支援をすることで、活動の活性化と指導者育成を図る事ができました。
《今後の課題と対応方法》 ① 社会教育担当職員の資質向上や社会教育主事の増員に向けた取り組みと、町民への学習活動、学習情報の提供・充実に努めます。 ② 社会教育関係施設職員及び各関係機関・団体との連携を強化し、町民の多様な学習活動の要望に対応できる体制づくりに努めます。 ③ 未来を拓く人づくり推進事業での台湾との国際交流研修に、多くの対象者が参加したが、対象者全員が参加できるような日程や異文化体験の重要性を生徒、保護者に理解してもらえらるような工夫改善に努めると共に、英語での交流を増やすプログラムの検証に努めます。

- ④ 生涯学習情報の提供を適時行い、町ホームページ等を活用し、各種団体と連携を図り、文化・スポーツ活動の人口増に努めます。
- ⑤ 文化振興基金補助及びスポーツ振興指導者養成補助を活用し、文化振興、指導者の養成に努めます。

施策の評価（４）

《総合計画施策体系の主要施策名》 芸術文化活動の充実
《重点項目》 芸術文化活動の充実
《平成 27 年度取組の概要》 ① 文化団体・サークル活動の町民への情報発信と参加奨励の機会拡充 ② 文化団体・サークル活動などの学習成果を生かせる場の充実 ③ 自主企画事業や芸術鑑賞事業を継続し、多くの世代が芸術文化に親しむことのできる機会の充実
《実施状況》 ① 町広報誌等での活動状況の掲載。 ② 町民文化祭での芸能発表会の開催及び作品展示、北原交流展示館での作品展示。 開村 100 周年記念事業として、剣淵町との作品展示、芸能発表会の相互交流。 ・町民文化祭芸能発表者数 174 名 ・町民文化祭作品展示者数 378 名 ・北原交流展示館作品展示数 180 点 来館者数 635 名 ③ 芸術文化講演会及び小中学生向けの芸術鑑賞事業の実施。 ・芸術文化公演会 吉田兄弟 9月 3日（木） 入場者数：415 名 春風亭柏枝和寒落語会 9月 17日（木） 入場者数：210 名 が〜まるちょば北海道東南西北&へそ JACK in わっさむ 10月 3日（土） 入場者数：409 名 陸上自衛隊第 2 音楽隊コンサート 11月 17日（火） 入場者数：370 名 ・小学校芸術鑑賞事業：影絵劇「西遊記」9月 8日（火） 鑑賞者数：168 名
《点検評価》 ① 町広報誌やホームページ等を活用し文化団体・サークル活動の活動状況を広く町民へ周知することが十分にできなかった。 ② 町民文化祭や北原交流展示館を活用し、各文化団体・サークルの学習の成果を発表する機会の提供をすることができました。また、剣淵町文化祭への作品展示や芸能発表会参加をとおし、文化交流を図る事ができました。 ③ 子どもから高齢者まで幅広い世代に向けた、質の高い芸術文化鑑賞の機会を提供し、芸術文化に触れる機会を提供することができました。
《今後の課題と対応方法》 ① 高齢化、固定化する各文化団体・サークルの会員増に向けて、広報誌・町ホームページ等を活用し、活動内容の紹介と文化活動人口の増に努めます。 ② 町民文化祭や北原交流展示館での芸能発表や作品展示を、より多くの人達に興味関心を持ってもらえるような工夫改善に努めます。 ③ 町民文化祭等で、剣淵町との相互文化交流の継続的な実施に努めます。 ④ 町民の興味関心を引くような芸術文化公演や各種講演会の検証と町内外への PR 方法の工夫を図るとともに、小中学生向けの芸術鑑賞事業では、学校と連携を図り、子ども達に質の高い芸術に触れる機会に努めます。

施策の評価（５）

《総合計画施策体系の主要施策名》 郷土文化の継承
《重点項目》 文化財の保全と活用の推進
《平成 27 年度取組の概要》 ① 多くの町民に興味関心を持ってもらえるような郷土資料館の環境整備 ② 有形文化財の調査・発掘・保存・活用や無形文化財の保護や継承 ③ 学校教育・社会教育事業と連携のもと、郷土資料館や指定文化財を活用した事業の展開やインターネットなどを活用した情報の発信
《実施状況》 ① 文化財保護委員会の開催（２回開催） ② 郷土資料館収蔵資料データ整理（３回開催） ③ 郷土資料館特別企画展の開催
《点検評価》 ① 文化財保護委員会を２回開催。町指定文化財の調査・研究、歴史的建造物等跡地の検証を行い、文化財の保護に努めました。 ② 収蔵資料データ整理支援員の協力により、資料カードの内容確認、修正、農機具等の使用方法の確認を行い、収蔵資料データの更新に努めました。 ③ 開村１００周年記念として、和寒町・剣淵町の昔の建物、イベント等のパネル展を開催し、歴史を振り返るとともに、郷土資料館への来館増に努めました。
《今後の課題と対応方法》 ① 文化財保護委員会で、文化財の適正な保存・活用について継続して協議していく必要があります ② 収蔵資料データの整理を行っているが、継続してデータ内容の確認、修正に努めます。 ③ 郷土資料館を活用した企画展や学校授業での活用の働きかけに努める必要があります。 ④ 郷土資料館の運営・ソフト面での活用方法及び点在する廃校資料の集約等について、文化財保護委員や関係機関等と協議していく必要があります。

3. 図書館関係評価項目

主 要 施 策 名		重 点 項 目
1	生涯学習支援の強化と読書推進活動の充実	①情報・資料の充実とレファレンスを通じた適切な資料・情報の提供
2	読書環境の整備	①図書館施設設備の整備
3	読書に親しめる事業の推進	①家庭読書支援と魅力ある図書館事業の推進

施策の評価（１）

《総合計画施策体系の主要施策名》 1 生涯学習支援の強化と読書推進活動の充実 2 読書環境の整備 3 読書に親しめる事業の推進
《重点項目》 ① 情報・資料の充実とレファレンスを通じた的確な情報・資料提供 ② 図書館施設設備の整備 ③ 家庭読書支援と魅力ある図書館事業の推進
《平成 27 年度取組の概要》 ① 図書館サービスの強化 ② 図書館施設設備の整備 ③ア) 読書推進活動の充実 イ) ボランティア支援 ウ) 図書館活動の啓発
《実施状況》 ① 図書館サービスの強化 蔵書の充実（書籍 2,581 冊、視聴覚資料 27 タイトルを購入） リクエストサービスの実施（146 冊購入） 相互貸借サービスの実施（104 冊借受、158 冊貸出） レファレンスサービスの実施 ② 図書館施設設備の整備 トイレ照明人感センサーの設置、身障者トイレ手洗い改修 空調機更新、自動ドア装置修繕 視聴覚ブース改修（モニター更新） ③ア) 読書推進活動の充実 自主企画事業や学校・地域ボランティアとの共催事業の実施 ・配本事業の実施 町内 7 施設 ・ブックトーク 18 回実施（小学校） ・ブックラリー実施（通年） ・読書感想文コンクール実施 208 人参加 ・ブックスタート 19 組に実施 ・図書館土ようおはなし会の開催 21 回 65 人参加 イ) ボランティア支援 活動費の援助 ・イベント準備代 ・パネルシアター購入 ・町外（5 市町村）ボランティアとの合同勉強会支援 活動の場の提供・拡大 ・ポコ・ア・ポコ土ようおはなし会開催 6 回 22 人参加 ・赤ちゃんおはなし会開催 2 回 20 人参加 ・季節イベント開催（夏まつり、クリスマス） 2 回 115 人参加

- ・ブックスタート絵本選本会参加 ボランティアより3名参加
- ・読みきかせ研修会等の情報提供
- ・町外ボランティアとの合同勉強会実施（図書館視聴覚室）

ウ) 図書館活動の啓発

図書館企画事業の開催

- ・読書週間記念事業開催「工作おたのしみ教室」26人参加
- ・朗読会「椿寺まで」15人参加
- ・図書館調べ物クイズ 10人参加
- ・劇団すぎのこ「とべ! ドードー」91人参加
- ・劇団バク「やさしい赤鬼と青鬼」98人参加
- ・夏休みそろばん教室 延べ34人参加
- ・子ども映画会(2回) 計53人参加
- ・古本まつり開催(2回) 8/15-16 2/20-21
- ・文化祭共催事業の開催
木のテーマ展「風樹舎 草木によりそう日々」開催 10/31-11/15
- ・道立図書館所蔵貴重資料展
「懐かしのアイドル特集」10/24-11/18
- ・町民作品展・発表会など(写真展、押し花展、お茶席 他)

そのほか

- ・中学校職場体験 2年生4人受入
- ・HPや広報誌での情報提供

《点検評価》

① 図書館サービスの強化

書籍数 86,189 冊、視聴覚資料 2,620 件の充実した蔵書数と高い貸出率(8.52 冊)を保っている。

蔵書の有効活用を図り、利用しやすい資料の配架、整備、PR に努めている。また、利用者のニーズに合った幅広い資料提供のため、相互貸借やリクエストサービスに力を入れる他、レファレンスサービス通して生涯学習や総合学習などの支援に努めている。各サービスの普及については、HP や広報誌、来館時の宣伝などを通して継続していく。

② 図書館施設設備の整備

トイレ照明人感センサーの設置、身障者トイレ手洗い改修、空調機更新、自動ドア装置修繕、視聴覚ブース改修(モニター更新)などにより、安全で快適な利用環境の提供を図った。

③ア) 読書推進活動の充実

「子ども読書活動推進計画」の計画期間(5年)がH27で終了することから、育児、保育関連や学校や図書館ボランティアなど各関係機関、団体と協働のもと、「第2次和寒町子ども読書活動推進計画」(H28~H32)を作成し、関係団体の子ども読書活動支援への共通認識や連携の強化を再確認した。

ブックトークは、18回実施。引き続き、小グループ(学年ごと)への対応と、担当教諭との打ち合わせや実施内容の評価・報告を実施し、内容の充実に努めた。また、小学校では、図書館からの配本を利用した個人貸出などが継続されており、学校での読書活動も活性化している。中学校へは、図書館配本を利用して、図書室のヤングアダルト世代の人気

本や雑誌コーナーの充実を図っている。

ブックスタートは健診会場にて 19 組に実施。実施にあたっては、司書、保健師、ボランティア、保育士がそれぞれの役割を担い、連携して実施できた。

その他、各イベントにおいて、各関連機関やボランティアと共催し実施にあたることが出来た。

イ) ボランティア支援

ポコ・ア・ポコおはなし会（月 1 回）、赤ちゃんおはなし会（年 3 回）、季節イベント（年 2 回）の開催の支援をしている。赤ちゃんおはなし会は、イベントとして実施することで、他の幼児・児童向けおはなし会との差別化が図られ、より赤ちゃんに特化した内容での実施が可能となっているが、ブックスタートのフォロー事業としての要素をさらに強化していく必要がある。また、夏まつりやクリスマス会などのイベント参加数は多いが、通常のおはなし会の参加人数が減少しており、実施方法や宣伝方法など検討が必要。

H27 年度は和寒町ボランティア主催で、近隣（和寒、名寄、士別、剣淵、風連）の読み聞かせボランティアの研修会を開催。

活動費については、夏祭りやクリスマスのイベントの準備、研修会などで活用されている。

ウ) 図書館活動の啓発

読書週間啓蒙のための記念事業を開催した。また、各関連機関と連携を組んだ多種多様な事業の開催により、図書館の多様性を PR することができた。

また、幼児、児童の保護者に向けた図書館利用案内などを通して、子どもの読書活動への啓発に努めた。

図書館の活動については主に HP で迅速な情報提供が図られた。

《今後の課題と対応方法》

① 図書館サービスの強化

今後も充実した蔵書を保ち、利用に合った整備を行い資料の活用を図る。

また、他施設・団体や町外図書館との協力体制を生かして、調べ物利用に幅広く対応出来る体制を強化すると共に、リクエストや相互貸借、レファレンス等の図書館サービスの周知に努める。

② 図書館施設設備の整備

老朽化した図書館備品などの整備

- ・閲覧用イス、ロビーソファ・テーブルなどの更新
- ・図書館車の更新（平成 11 年～）
- ・視聴覚システム更新

安全で快適な施設環境の維持

- ・外壁、正面玄関階段などの補修
- ・ホール吹抜内部クロス張替え

その他

- ・図書館システムの更新

③ア) 読書推進活動の充実

子どもの読書活動については、第 1 次の「子ども読書活動推進計画」の計画期間が平成 27 年度で終了しており、計画前年との比較で児童書の貸出冊数や図書館利用が増加安定の傾向にあることから、1 次計画の理念を引き続き、特に関連機関・団体との連携を持って

事業展開していくことに重点を置き、「第2次子ども読書活動推進計画」を策定した。

今後とも、新規の利用者の獲得のため、広報誌や学校訪問などを通した読書案内、図書館サービスの充実や周知に力を入れていく必要がある。

イ) ボランティア支援

おはなし会については関係機関との連携やブックスタート事業などとの関連性を強化して事業展開するよう努める。また、活動費の支援、研修等についての情報提供を継続し、新規メンバーの募集や後継者の育成支援に努める。また、内容のマンネリ化をさけるため、おはなし会の形態を再考する必要がある。

ウ) 図書館活動の啓発

読書週間啓蒙のための記念事業を開催し、読書週間の周知に努める。

また、ホームページの更新や館内特設コーナーの設置などによる蔵書のPR、多種多様な事業開催を通して、利用しやすい親しみのある図書館環境作りを継続していく必要がある。

子どもの読書推進については「第2次和寒町子ども読書活動推進計画」に添った事業展開を関係各所連携のもと取り組んでいく。

4. スポーツ振興関係評価項目

主 要 な 施 策 名		施 策 の 内 容
1	誰もが親しめるスポーツ機会の拡充	① スポーツに親しむ機会の拡充 ② スポーツ人口の拡大と組織強化 ③ スポーツを通じた交流活動の促進
2	スポーツの基盤の整備充実	① 各種スポーツ指導者の育成・強化 ② スポーツ施設の整備、管理運営の充実

施策の評価（１）

《総合計画施策体系の主要施策名》 誰もが親しめるスポーツ機会の拡充
《施策の内容》 ①スポーツに親しむ機会の拡充 ②スポーツ人口の拡大と組織強化 ③スポーツを通じた交流活動の促進
《平成 27 年度取組の概要》 ①スポーツを身近に感じられるよう、町民のニーズに対応したスポーツ活動を実施し、スポーツ参加機会の拡充に努める。 ②スポーツ人口の底辺拡大を目的とした団体との連携強化や指導者育成、情報提供など活動支援に努める。 ③町民大運動会をはじめとするスポーツ事業や、総合型地域スポーツクラブの活動をと おして異世代間の交流に努める。
《実施状況》 ①スポーツを身近に感じられるよう、スポーツの機会と体力の維持増進を目的としたスポーツ教室を開催した。また、未来のトップアスリート全力サポート事業と題し、和寒町出身のオリンピック出場選手を招いて教室を開催し、トップレベルを体験してもらうことで、参加者の技術の向上を図った。 ・各種水泳教室（対象：小学生）1回（4日間）51名 ・スポーツ吹矢体験教室（対象：全町民）1回77名 ・ジュニアスキー教室（対象：保育所年長、小学1年生）2回（2日間）33名 ・菊地二久選手：トップアスリートバイアスロン射撃体験教室（10/3）1回149名 ・加藤大平選手：トップアスリートクロスカントリー教室（7/25）1回40名 ②スポーツ人口の底辺拡大を目的として各団体が実施するスポーツ教室への支援を実施した。 ・各団体スポーツ教室支援の実施 5団体 ③本年も町民皆スポーツを目指し町民大運動会などの大会を開催した。その他の大会についても、各体育団体と連携しながら開催している。総合型地域スポーツクラブについては、クラブと連携しながらスポーツ教室を開催した。また、町民スキー大会については、剣淵町民にも声掛けを行い、交流を図った。 ・第54回町民大運動会（対象：町民）1,100名参加（7/5） ・水中レクレーション大会（対象：幼児～小学生）59名参加（7/25） ・B＆G会長杯少年少女水泳大会（対象：小中学生）25名参加（7/31） ・町民ロードレース大会・スポーツチャレンジデー（対象：町民）149名参加（10/3） ・町民スキー大会（対象：町民、剣淵町民）競技54名、レク110名参加（3/5） ・総合型地域スポーツクラブ「わっさむフレンドパーク」活動 会員数44名 小学生対象事業（マット運動、軽スポーツ他）17回

《点検評価》

- ①水泳教室については、小学生を対象者とした、25mまでは泳ぐことの出来ない児童と、顔を付けられる程度の児童の2組に分けることにより、より密な指導ができ泳力の向上につながることができた。スポーツ教室については、スポーツ吹矢体験教室を開催し、多くの住民の参加を得ることができた。ジュニアスキー教室については、冬休み中に学校スキー授業に対応できる能力を養うことを目的として保育所年長児、小学1年生を対象にスキーの基礎技術やリフトの乗り方等を中心に指導を行い参加者のスキー技術の向上につながった。また、和寒町出身のオリンピック出場選手を招いた、バイアスロン射撃体験教室とクロスカントリー教室については、トップアスリートから技術を学び交流ができたため、好評を得た。
- ②各団体が会員拡大を目的としたスポーツ教室の取り組みについて、情報提供や支援を行うことで、各団体の組織強化に努めることができた。
- ③スポーツを通じた交流活動の促進については、町民大運動会や各種スポーツ大会の開催を通じた、幅広い年代層の参加を得て実施し、異世代間の交流を図ることができた。総合型地域スポーツクラブの育成については、運営費用の一部を助成し、子どもの体力向上を中心とした教室の開催につながっている。

《今後の課題と対応方法》

- ①スポーツ教室の開催については、多くの町民の参加を得て開催できており、小学生を対象とした教室については、児童の体力向上を目的として継続して実施し、一般向けの教室については、スポーツ離れを解消できるような、気軽に参加できるスポーツ教室や競技種目をしぼった教室の開催をしていく。
- ②スポーツ教室への支援については、新規加入者の確保やスポーツ人口の底辺拡大に向けた取り組みに対し、引き続き支援をしていくとともに、各団体の組織強化、指導者の育成につながる事業の取り組み強化を継続していく。
- ③今後も関係団体と開催内容等について協議を行いながら、引き続き幅広い年代の参加が得られるよう内容や開催の周知方法について工夫していく。また、総合型地域スポーツクラブの育成については、子どもの体力向上を目指した取り組みを軸として拡大していけるよう取り組みの支援を行っていく。

施策の評価（２）

《総合計画施策体系の主要施策名》 スポーツの基盤の整備充実
《施策の内容》 ①各種スポーツ指導者の育成・強化 ②スポーツ施設の整備、管理運営の充実
《平成 27 年度取組の概要》 ①既存の種目や軽スポーツなど多様なニーズに対応した指導者を育成・確保するため、講習会の開催や、情報提供等の支援に努める。 ②各スポーツ団体との連携を強化し、施設の効率的、効果的な利用に努めるとともに、だれもが利用しやすい施設整備、運営に努める。
《実施状況》 ①町内の各スポーツ団体や少年団指導者、スポーツ指導員等が各種スポーツの指導を行う際に必要な資格取得の費用の助成をした。 ②体育施設（研修館楡・片栗庵含む）は、体育団体自ら使用する施設の管理運営を基本に一般財団法人和寒町体育協会を指定管理者に指定し管理運営を行っている。東山スキー場については、スポーツ施設の他にレジャー施設としての役割もあるため、民間活力の導入により柔軟な発想とサービスの向上を目指し、町内の民間企業を指定管理者に指定し管理運営を行っている。また合わせて体育施設の整備を実施してきている。 ・ 総合体育館・研修館楡改修工事（総体支障立木整理・楡非常誘導灯取替） ・ 東山スキー場リフト改修工事（第 2 リフト搬器取替、監視室建替 等） ・ 東山スキー場ロッジ改修工事（食堂クロス床張替、トイレ洋式化 等） ・ 中和・西和地域体育館屋根塗装工事（屋根塗装）
《点検評価》 ①多様なニーズに対応した指導者の育成を図るため、各スポーツ団体の指導者などの資格取得に対する費用の一部を助成することにより、多大な費用のかかる上級資格の取得が可能となるため、指導者の育成・強化に繋がった。 ②指定管理者制度移行により適切な管理運営のもと、施設の利用率を向上するための取り組みや、コストの削減に向けた取り組みが図られている。また、改修が必要な施設や設備の改修及び更新を実施することができた。
《今後の課題と対応方法》 ①スポーツ指導者などの資格取得については、上級資格になるにつれ道外で試験が行われる場合が多く、多額な費用がかかるため取得しづらかったが、上級の資格を取得しやすい環境をつくることにより、指導者の資質の向上、育成、強化につながるため、今後も継続していく。 ②指定管理者と連携を密にしながら、利用者の立場に立った住民サービスの向上、更には運営コストの低減にもつながるよう、適切な管理運営及び情報の共有化を図っていく。また、施設の効率的な整備内容について、指定管理者と連携を取りながら計画的に整備を進めていく。

IV 学識経験者の意見

教育委員会より提出された平成27年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検報告書、教育委員会議事録等の資料、事務担当者との意見交換、学校訪問を基に意見を述べさせていただきます。

1. 教育委員会について

平成27年度の教育行政方針に掲げた

「確かな学力、豊かな心、健やかな体など、知・徳・体の調和のとれた子ども」

の育成の根幹は、教育委員会ににあります。その会議は、月1回の例会をはじめ、10回開催されております。その議題内容は、学校教育・社会教育はじめ多岐に渡る教育の課題や問題等がきめ細かく適切に検討審議され、教育行政方針の達成を目指したものであります。

特に、ことあるごとに教育現場を視察訪問し、教育委員会と小中学校をはじめとする教育現場との密接な連携、相互理解を密にしていることは、おおいに評価できるものと考えます。

2. 学校教育について

児童・生徒一人ひとりが自ら考え学び行動する主体的態度を育むとともに、命の大切さ、思いやりや感謝の心を培うことが大切です。そのため、教育委員会では

「確かな学力を身につけ、豊かな心を育み、健やかで逞しい心身」

の調和のとれた教育の推進を学校教育の重点指針としています。

平成27年度の取り組みは、その指針を基に

- ①基礎的、基本的な知識の定義と課題解決的な学習や探究活動を重視した授業づくり
- ②教職員の授業力や生徒指導の力量を高める取り組み
- ③読書推進活動の取り組み
- ④安心、安全で信頼される学校づくり事業
- ⑤小中学校ジョイントプロジェクト事業
- ⑥学ぶ力を育む推進事業

を学校経営の重点とし、その実践を内外部から評価し教育効果をあげているものと考えます。

しかしながら、いじめや体罰、携帯電話の弊害等の問題が増加傾向にある昨今です。今後、一層の児童生徒の実態等の的確な把握、教職員の資質、指導力の向上、家庭、地域及び各関係機関との連携強化に努めていくことが必要に思われます。

3. 社会教育及びスポーツについて

社会教育の推進について、生涯学習の観点から

- ①うるおいのある地域づくりと人づくりをめざす社会教育活動の振興
- ②豊かな心を育む文化活動の振興
- ③健康で明るく豊かな生涯スポーツの振興

の3つを社会教育行政の重点として、公民館、図書館、各スポーツ施設等を生涯学習の場とし、町民（老若男女）全体が必要とする学習内容の企画立案、各種団体の育成等々、多様な事業研修をとoshi、機能しているものと考えます。

特に、望ましい生活習慣の定着を目指した「わっとさむスクール」、安全見守りの「にこにこパトロール」、三笠山大学（高齢者大学）と和寒小学校の姉妹協定による「和小っ子祭り」等々、少子高齢化の進展に伴った企画立案、団体（サークル）の育成、学習研修の場の設定等々、「いつでも、どこでも、だれも」が生涯にわたって多様な学習機会の場の提供を期待しています。

4. 今後に向けて

社会情勢の大きな変化に伴い、環境問題や地域間の格差さらに少子高齢化や核家族化が進行するなか、特に子どもたちやお年寄りを取り巻く生活環境に多くの問題、課題を抱える昨今であります。そのようななか町民一人ひとりのニーズに応える教育に向け、多様な学習企画立案、学習機会や場の設定、形成等に真摯に取り組んでいると思います。

今後とも、下記の点を考慮し、教育効果を図られることをお願いします。

1) 確かな学力・豊かな心の育成

◇全教職員の共通理解の構築（直接的なふれあい、対話の重視）

◇教師の学習指導力、生徒指導力の向上強化（教育先進地視察研修等）

◇全教職員一丸となつての体罰、いじめの根絶（和寒町いじめ防止基本方針）

2) 学校・家庭・地域の連携強化

◇児童生徒の安全安心な登下校（安全見守り隊の街頭指導等）

◇子育て、家庭教育の支援（通学合宿「わっとさむスクール」）

◇地域ボランティア、体験的学習の推進（三笠山大学「和っ子祭り」）

3) 食育を目指した学校給食の推進（安心・安全な給食の提供）

4) 読書に親しめる事業の推進（ブックトークの継続等）

5) スポーツの基礎の整備充実（各種スポーツ指導員の育成等）

6) 教育委員会と関係機関、団体等の交流連携の推進（教育相談窓口の開設と推進）